

中国の旅

北京・万里の長城と 三峡下りクルーズ

2015. 9. 24～10. 3

蘇州に住む米国人友人を訪ねて

1. 北京 (2015-9-25~26)



蘇州から北京へ。
新幹線、平均時速300kmで5時間

(1) 故宮博物院 (世界遺産)

まずは故宮へ
「紫禁城」
Forbidden Cityの方が
親しみやすい。

兎に角広い、大きい。
正に明・清朝の歴史。



午門



太和殿



屋根装飾
「走獸」



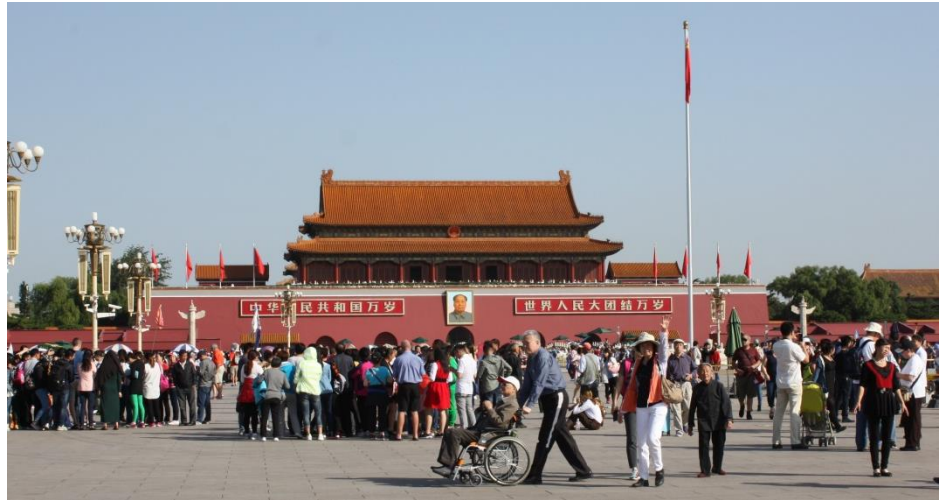
石階段

(2) 天安門
(世界遺産)

国慶節の前
人人人

表情は明るい
平和な中国？

日本人いない。



(3) 頤和園 (いわえん) : Summer Palace
(世界遺産)



昆明湖は
歴史ある貯水池

明・清時代隆盛
西太后避暑地



仏香閣



長廊



石舫

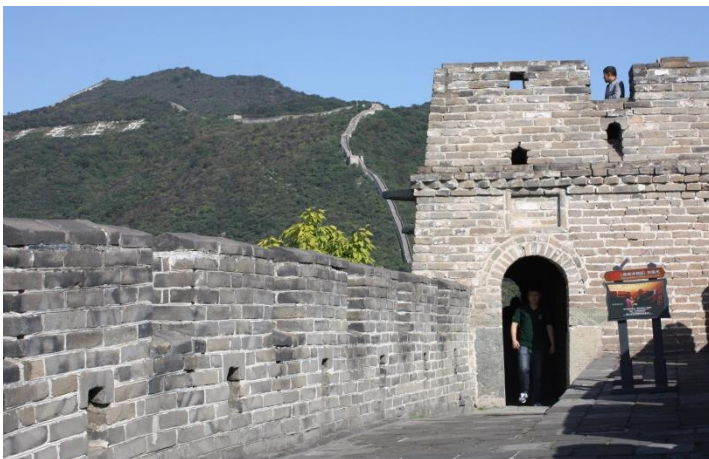
2. 万里の長城 (Great Wall) (2015-9-27)

(世界遺産)



アプローチはロープウェイで。
慕田峪長城（ぼでんよく）へ。

この辺りは古く、北齊時代に遡る



歴史は秦の始皇帝時代と言われるが
現存の大部分は明の時代。

よくぞこんなものを、と驚嘆。

中国人の価値観に繋がる？

青空のもと、心地よい汗をかく。
まるで登山。
思ったほど混んでいない。
やはり、一人の日本人にも会わず。

日本人ツアーは八達嶺長城に？
それとも、やはり反日ムード？
全く感じないけれど。



3. 三峡クルーズ (重慶～宜昌) (2015-9-28～10-1)

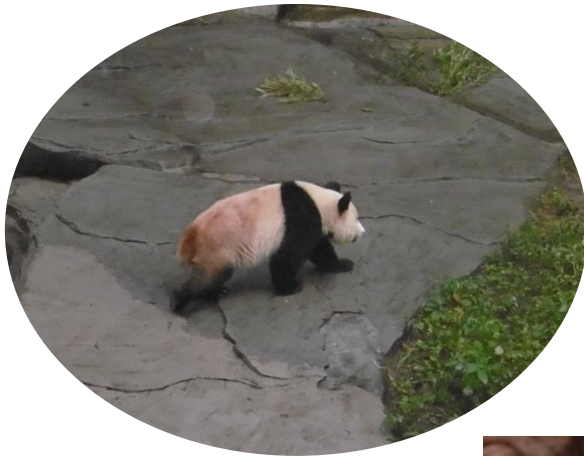
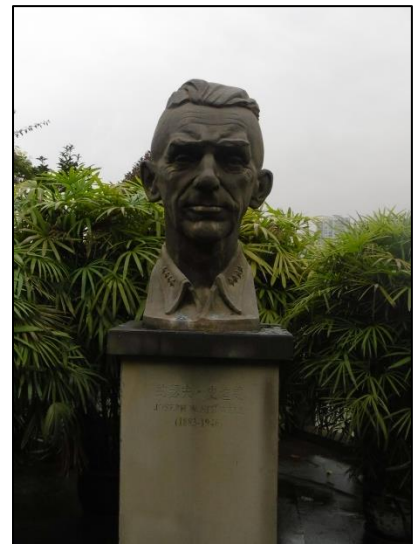
(1) 重慶 (Chongqing)

北京から重慶に飛んで、ツアースタート。Web で申し込んだツアーは欧米系。ガイドが付いたが英語のみ。久しぶりの英語漬け。脳も活性化??クルーズに乗り込む前に街案内。



重慶は大都市 (直轄)。ついに北京・上海を抜いて中国一の人口となったとか(3100万人)。歴史的にも日中戦争の拠点となった。今は工業都市でもある。イエローキャブ (タクシー) は殆どスズキ製だった。

米国人向けのツアーだったからか、まず J.W.Stilwell の居住地跡に。太平洋戦争時に蒋介石と共に日中戦争を戦った人。蒋介石とうまくいかず解任。こんな経歴だから中国での扱いも複雑。何れにしろ日本人ツアーではおそらく決して行かない場所。余計に興味深かった。ガイドが困っていた。



重慶動物園のパンダハウス。
人も多くなく、ゆっくり観察。

パンダも沢山。でも寝ていた。

乗船前に夕食。
食べたかった火鍋。
辛さに汗しながら。



(2) クルーズ船 **Victoria Jenna**

2009年建造 10000トン 400人乗り



(3) 豊都・鬼城 (FengDu Ghost City) (9/29)



最初の停泊は Fengdu.
この辺りもダムに沈んだ
地域。
朝の散歩。

仏教と儒教と。
死後の世界を示す。
像は何れも新しい。



(4) 石宝寨 (せきほうさい : Shibaozhai) (9/29)

明の時代の9層の楼閣 (石宝塔)、後で12層に。すべて木造。

三峡ダムの完成で一部が水没するため、2005年に閉鎖して周囲を堤防で囲む保護工事をし、2009年に完成して再開放。



周囲を堤防で保護



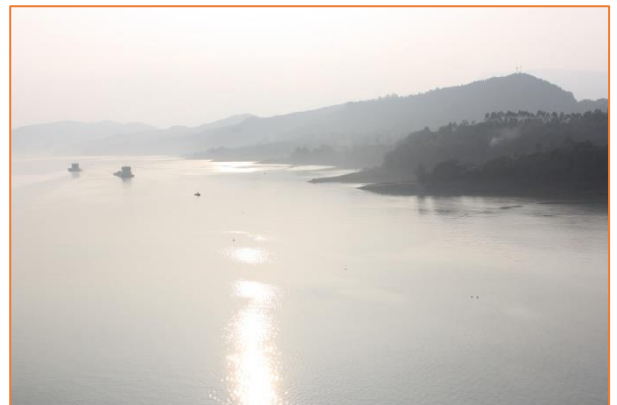
橋で渡る



もともとは岩に張り付いた砦、その後寺院も建設。岩に掘られた仏像も。



この種の像も多い。なかなか理解できない。



石宝寨から夕陽の長江を臨む

(5) 白帝城 (はくていじょう : White Emperor City) (9/30)



目立つ門が
迎えてくれて
橋で渡る。
今は、完全な島。



蜀の建国者劉備が夷陵の戦いで呉に敗れ逃れたのが白帝城
劉備は後事を諸葛亮(孔明)に託し、この城で没した。
もっと三国志を読んでくれば良かった。

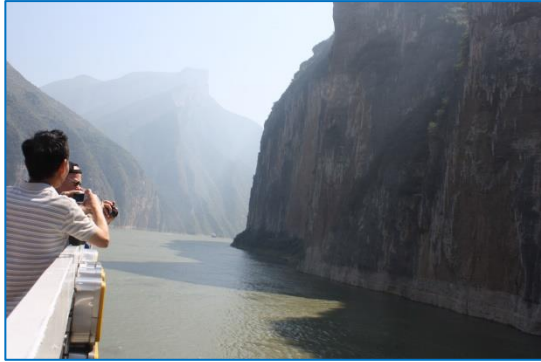


(6) 三峡下り (Three Gorges)

(9/30)

三峡とはから瞿塘峡 (くとうきょう : Qutang Gorge, 8km)、巫峡 (ふきょう : Wu Gorge, 45km)、西陵峡 (せいりょうきょう : Xiling Gorge, 66km)。

瞿塘峡は白帝城からすぐ。



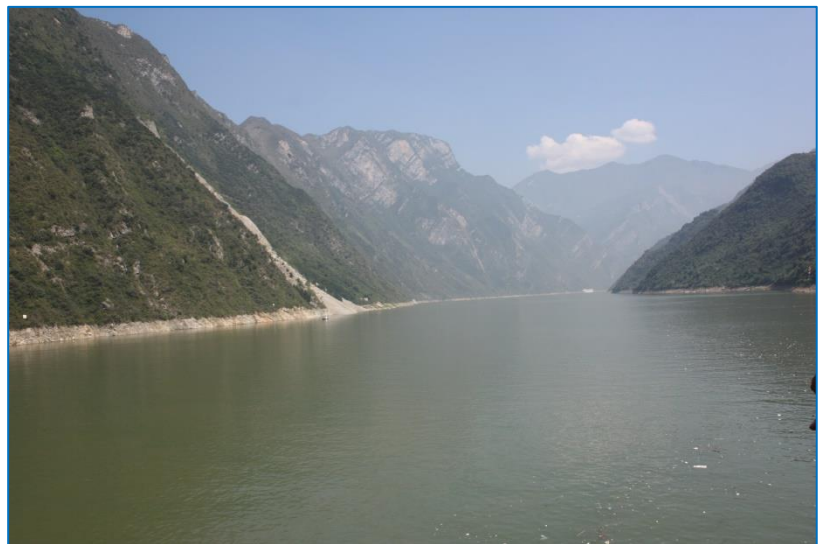
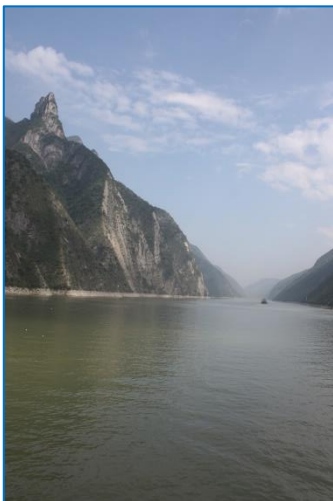
瞿塘峡の夔門 (きもん)



白帝城石垣から瞿塘峡入口を臨む



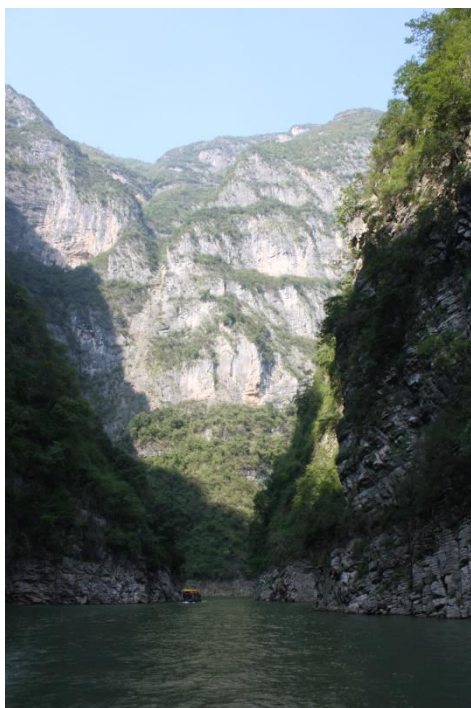
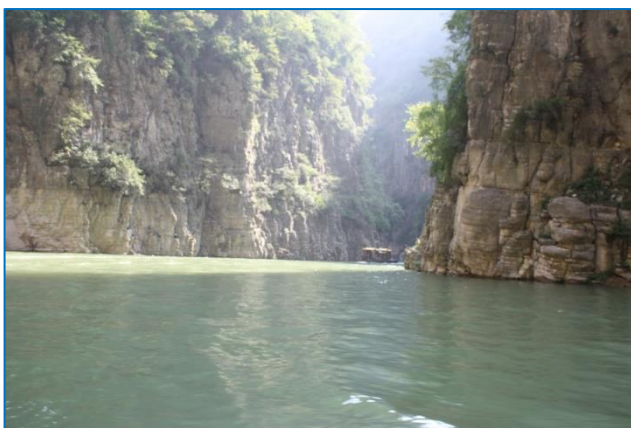
瞿塘峡から巫峡へ



(*) 神女溪クルーズ (Goddess Stream)

(9/30)

小型ボートに乗り換えて、溪谷に行く



ダムに沈んだ昔の山道

ガイドは地元の少数民族出身
でも、英語はペラペラ



巫峡から西陵峡を (のんびりクルージング) (9/30)



西陵峡を下る



車両満載の船が(重慶へと)上っていく



日没も近い



三峡下りも終わる

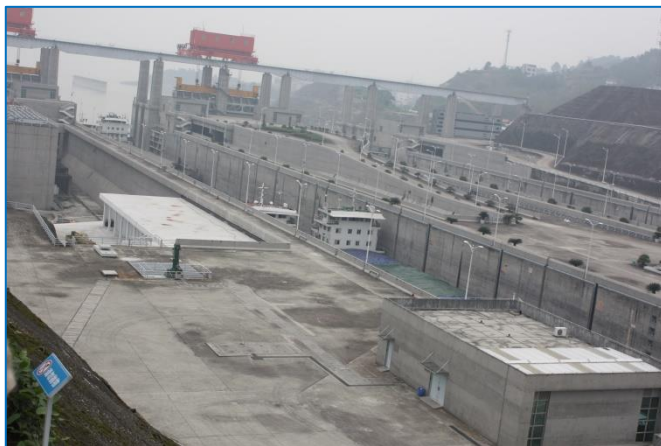
(7) 三峡ダム (Three Gorges Dam)

(10/1)

いよいよハイライト、世界一の水力発電所、三峡ダム発電所へ。1993年に着工、2009年に完成。2250万kWの発電能力、年間発生電力量は1000億kWh(2014年に100億kWh)。日本一の黒部ダム33.5万kW、年間約10億kWhと比べてその巨大さが分かる。ひび割れ、崩れ、土砂堆積、地震、軍事攻撃などによる、「万一の事態」を心配する声も多い。日本メーカーは全て撤退した。



5段 ShipLock の
通過は
真夜中。
手が届く距離に
壁。



巨大な Shiplock 側



ダム (発電) 側は霧の中

建設中のこのビルは
何と、船のエレベーター

今年中には完成して一気に
輸送量を増やすとか。

やるのがデカイ



(8) 宜昌 (Yichang)

(10/1)

3泊4日のクルージングを満喫して宜昌に降り立った。またガイドさんが待っていてくれて、市内観光に連れて行ってってくれるとか。

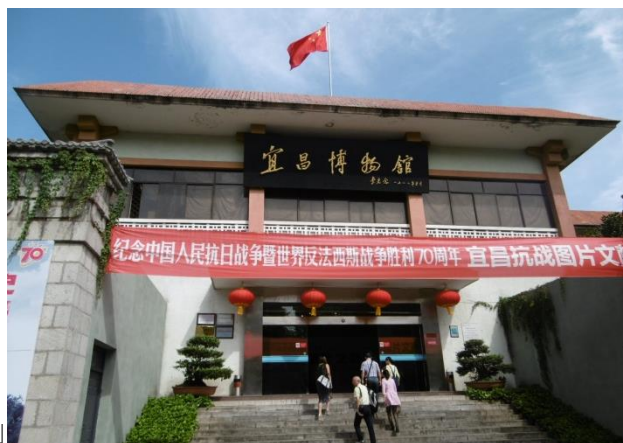
その前にまず昼食。
これが昼食？



宜昌も大都会。大きなビルが立ち並び人口も多そう。
これが、中国の「国力」か。

宜昌博物館に
宜昌の歴史を示す民芸などの陳列。

ところが、特別開催中は
日中戦争勝利 70 周年の展示。
地元の貢献者の写真などたっぷり。
ちゃんと観覧した。子供たちが沢山。
これでは「自然に常識がつくられる。」



3. 蘇州(Suzhou)

(2015-10-2)

飛行機で上海に帰り、蘇州に行き、彼の家で2夜。
正に中国のアメリカ。この住宅地を、(中国人が)
団体バスで見学に来るらしい。

今後、お金持ちたちが何を望むようになるのか。
興味深い。

